

大阪北部農業協同組合 第18回通常総代会



第18回 通常総代会開催

農を守り暮らしを支え、地域社会に貢献し、
組合員・地域住民から信頼されるJAを目指します。

平成30年6月26日(火)午前10時より池田市民文化会館において「第18回通常総代会」を開催しました。

総代会の開会にあたり司会者より出席総代数(議決権行使書数含む)523名により本通常総代会が成立したことを報告しました。

冒頭挨拶で岸本組合長は、日頃の組合運営に対するご支援・ご協力へのお礼を述べるとともに、第6次中期経営計画の最終年度として農業者所得の増大、次世代につなぐ協同活動の推進、総合事業機能を活用した健全経営の実現に向けた各事業の取り組みについて説明がありました。

そして、議長に選出された萱野支店総代の寺内勇氏により議事が進行され、平成29年度事業報告や平成30年度事業計画の設定など上程された第1号議案から第6号議案、および附帯決議案までが質疑応答、審議された後、全議案とも原案どおり可決承認されました。

今後とも組合員・利用者のみならずの期待に応えられるよう、当JAの経営理念のもと農業と地域をつなぐ役割を発揮し、より一層の経営の健全性、信頼性の向上に努めてまいります。

第18回 通常総代会の目的事項

【報告事項】

- ①平成29年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書並びに全国農業協同組合中央会の監査報告及び監事の監査報告について
- ②JA自己改革の実践状況報告について
- ③「JAバンク基本方針」の変更について

【決議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 平成30年度事業計画の設定について
- 第3号議案 定款の一部変更について
- 第4号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第5号議案 監事監査規程の廃止・制定について
- 第6号議案 理事及び監事の報酬決定について

【附帯決議案】

この総代会で行った決議及び諸手続上の字句並びに軽微な事項について、行政庁の指示を受けたときは、これに基づく修正を理事会に一任します。



議長 寺内 勇氏(萱野支店)



岸本組合長



ご臨席いただいたJA各組織の代表者

平成30年度 組合員座談会意見集約集

6月6日～8日の間、全8会場にて開催された地区別組合員座談会において
組合員の皆さまから頂いた主なご意見・ご質問等を紹介いたします。

皆さまから頂いた貴重なご意見等は、今後の組合運営の参考とさせて頂き、より良い組合づくりを目指して、
役職員一丸となって努めてまいります。

◆総務関係◆

Q 都市化が進むなか、農業ができなくなった農地の活用方法について

A 「特定生産緑地制度の創設」により10年ごとに生産緑地の指定を更新できるようにしたことや「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」により、生産緑地を貸しても相続税の納税猶予が受けられるようになることから、意欲ある担い手や市民農園に貸すことができるようになり、生産緑地の指定を受けるメリットが拡充されましたので説明会を実施いたします。

Q 正組合員数が減少傾向にあるが、
その中でJAの運営について

A 第6次中期経営計画の基本目標である「地域農業の振興による農家所得の向上」において、農産物直売所のオープンや農業講座を実施し、地域農業の振興に向けて取り組んでいるところです。今後も、地域農業の振興に向けて取り組むとともに、農地を保全するための受託農作業の充実や生産資材の価格引き下げ等に努めてまいります。

◆金融共済関係◆

Q 窓口での入金に関する本人確認
について

A 窓口での取引時は、犯罪収益移転

防止法に基づいて、「口座開設」・「200万円を超える現金の入出金」・「10万円を超える現金での振込」などの取引が本人確認の対象となります。

◆営農経済関係◆

Q 受託農作業の耕起で畝立作業をして欲しい

A 組合員の方から要望があったことから、耕起の申込時にご希望があれば、畝立てをトラクターでの機械作業の出来る範囲で行います。

Q 受託農作業の草刈りの圃場について

A 草刈り作業については、農地の草刈りが条件です。また、当JAの管内にある圃場を対象としております。申込み受付後に圃場を確認したうえで作業日程や料金等を説明いたします。

Q 購買品セールの年に何回くらい行うのか

A 秋の予約申し込み(土壌改良剤、米袋等)と春の予約申し込み(肥料・農薬・小型農機具)、「ほくちゃんセール」として年6回広報誌発行月(4・6・8・10・12・2月)に実施しています。また、各購買店舗の展示会でもセール等を実施していきます。

